

2025年11月4日
サンデン株式会社

SIE、欧州の脱炭素化サミットに登壇 ～Net ZERO Energy Sourcing & PPA Summit 2025で取り組みを紹介～

サンデン株式会社(本社:群馬県伊勢崎市)の欧州拠点 Sanden International Europe(SIE)は、2025年9月10～11日にドイツ・フランクフルトで開催された「第4回 Net ZERO Energy Sourcing & PPA Summit」に登壇し、当社の脱炭素化への取り組みを紹介しました。

イベントリンク:<https://netzero-events.com/>

● 脱炭素化に向けた議論と交流

本サミットは、企業のエネルギー担当者と電力供給側が一堂に会し、脱炭素化に向けた取り組みについて意見交換をおこない、その活動を加速する目的で開催されました。小規模ながらも活発な意見交換の場として設計されており、SIEでもこうした実践的な事例の共有や有益なネットワーキングを通じて、社外の知見を積極的に取り入れ、脱炭素社会に向けた活動の質とスピードの向上を図っています。

参加者は製造業やデータセンターなどさまざまな業界から集まっており、長期的な電力購入契約(PPA)や、自社施設での再生可能エネルギー導入、蓄電池などのストレージ技術の活用、さらに効率的なエネルギー調達の方法について議論が交わされました。



● SIEのプレゼンテーション概要

SIEからは、欧州サステナビリティ責任者が登壇し、当社のサステナビリティ戦略について発表しました。

プレゼンテーションで紹介されたポイント

- ・ サステナビリティ推進の背景と主要な要因
- ・ エネルギー調達・脱炭素化における今後の可能性
- ・ 規制や顧客要件の変化への対応
- ・ ESG(環境・社会・ガバナンス)を統合した全社的なアプローチ
- ・ 戦略の実行と、目標を具体的な成果につなげる取り組み



● サステナビリティへの取り組みと今後の展望

登壇者は、サステナビリティは規制の遵守にとどまらず、事業の将来性を高め、イノベーションを促進し、企業としてのレジリエンス(変化に対応し、持続的に成長する力)を築く機会であることを強調しました。

また、環境に配慮した製品による電動化の推進や、顧客やパートナーとの連携を通じて持続可能なモビリティ社会の実現に貢献する姿勢について述べました。

今回の登壇を通じて、当社のサステナビリティへの強い取り組みを示すとともに、自動車業界における脱炭素化と低炭素エネルギー活用を推進を一層明確にしました。

今後もサンディンググループ丸となり、グローバルでこれらの取り組みを推進し、持続可能な社会の実現と次世代への価値創出に貢献していきます。



本件に対するお問い合わせ

サンデン株式会社 総務本部 広報・IR 担当

Tel : 03-5828-5582 Mail : sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com Web : <https://www.sanden.co.jp/>